

参考資料

## 令和2年度当初予算案における主要な施策

部 局 名
都 市 整 備 部

# 新規事業及び重要事業総括表

## I 総 額

### 【一般会計】

区分	令和2年度	令和元年度	伸び率
予算総額	20,160,467千円	22,616,927千円	△10.9%
一般会計構成比	1.0%	1.2%	—

### 【埼玉県県営住宅事業特別会計】

予算総額	12,533,045千円	12,830,064千円	△2.3%
------	--------------	--------------	-------

### 【参考 公共事業の予算】

事業名	令和2年度予算(千円)	令和元年度予算(千円)	増 減 (千円)	伸び率
土地区画整理(補助)	737,989	746,927	△8,938	△1.2%
公園(補助)	617,214	601,497	15,717	2.6%
合計	1,355,203	1,348,424	6,779	0.5%

## II 主な新規事業及び重要施策

(単位 千円)

### 1 魅力と活力にあふれる都市づくり

P 1	一部新規	大宮公園の整備	【公園スタジアム課】	250,000
P 2	一部新規	県営公園整備の推進	【公園スタジアム課】	4,591,112
P 3	一部新規	さいたまスーパーアリーナ・けやきひろばのバリューアップ	【都市整備政策課】	1,288,295
P 4		まち並み景観形成の促進	【田園都市づくり課】	13,495
P 5		圏央道の整備効果を生かした産業基盤の整備	【田園都市づくり課】	2,397

### 2 暮らしやすい都市づくり

P 6	新規	コンパクトシティの推進	【都市計画課】	18,220
P 7		つくばエクスプレス沿線地域整備の推進	【市街地整備課】	2,345,461
P 8		市街地整備事業の促進	【市街地整備課】	1,772,081
P 9		住まいのセーフティネット・県営住宅の整備	【住宅課】	2,812,341
P 10		埼玉住まいる子育て応援プロジェクト	【住宅課】	176,454
P 11		単身高齢者モデル住宅の整備	【住宅課】	197,211

### 3 安全で安心な都市づくり

<u>P 1 2</u>	新規	建築情報の活用推進	【建築安全課】	4, 2 1 6
<u>P 1 3</u>	新規	住宅密集地の改善推進	【市街地整備課】	8, 0 0 0
<u>P 1 4</u>		民間建築物の耐震化の促進	【建築安全課】	2 0 1, 0 9 8

## 大宮公園の整備

担当 公園スタジアム課  
公園計画・事業担当  
内線 5403

### 1 目的

大宮公園は1885（明治18）年開園の歴史ある公園で、多くの来園者でにぎわう一方、施設の老朽化など課題も目立ち、整備に取り組む必要がある。大宮公園の整備により、より魅力のある公園を目指す。

### 2 事業の内容

#### (1) 公園の整序

現状の課題に対応するため、公園の整序を行う。具体的には、建築後48年が経過し、老朽化が進んだ体育館を解体・撤去する。また、自由広場において、老木による枝落ちや景観の阻害への対応として樹林地の保全等を実施する。

#### 新 (2) 大宮スーパー・ボールパーク調査・検討

野球場、双輪場、サッカー場等の競技施設について、関係者や利用者等の意見も踏まえ、将来的に必要な施設や機能、整備手法・運営方法等について調査・検討を行う。

### 3 令和2年度予算額 250,000千円



## 県営公園整備の推進

担当 公園スタジアム課  
公園計画・事業担当  
内線 5397

### 1 目的

都市環境の改善や人々のレクリエーションの場を提供し、都市生活にうるおいと安らぎをもたらすとともに、災害時には避難場所、救援活動の拠点となる公園の整備を進める。

### 2 事業の内容

#### (1) 公園の拡張整備

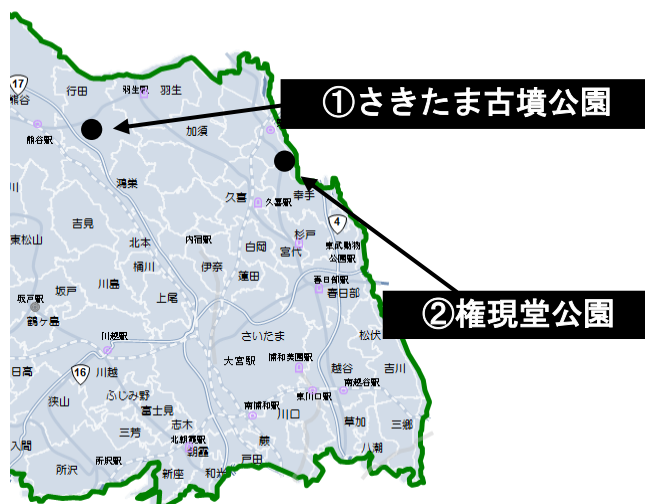
2公園において、拡張整備を推進する。

##### ① さきたま古墳公園

- ・ 用地買収
- ・ 物件移転補償
- ・ 広場整備

##### ② 権現堂公園

- ・ 園路整備
- ・ 施設整備  
(トイレ、あずまやなど)



#### (2) こども動物自然公園40周年 キリン展示の一新

国内初となるキリンの屋内展示。ガラス越しに、キリンの大きさ、迫力が実感できる新施設を整備する。

#### (3) 新たな森づくりの推進

みどりの少ない都市部において「みどり再生のシンボル」となる新たな森を創出する。

#### 新 (4) 埼玉スタジアム2002公園 レガシーの創出

東京2020オリンピックのサッカー競技の試合概要など、大会を記念した銘板を設置する。

3 令和2年度予算額 4,591,112千円

# さいたまスーパーアリーナ・けやきひろばのバリューアップ

担当 都市整備政策課  
 企画・新都心事業調整担当  
 内線 5655

## 1 目的

令和2年度は、さいたまスーパーアリーナ（以下、「スーパーアリーナ」）が東京2020オリンピックのバスケットボール会場となると同時に、開館20周年を迎えるアニバーサリーイヤーとなる。

そこで、これまでの歩みやオリンピックの記憶を残し、国内屈指のイベント開催実績や世界レベルの優れた施設であることを紹介することで、多くの来場者にスーパーアリーナの魅力を伝え、「ブランド力」を高める。また、今後も多くの来場者が安心・安全に施設を利用できるよう施設修繕を実施する。

## 2 事業の内容

### 新 (1) 開館20周年メモリアル創出事業

スーパーアリーナ内に、オリンピックのバスケットボール会場であった記憶を残すため、大会を記念した銘板を設置する。また、これに併せて、指定管理者は20周年メモリアル施設を整備する。



### (2) 施設修繕

スーパーアリーナ及びけやきひろばについて、可動機構（壁、床、天井、座席）をはじめとした設備を機能維持するため、中長期修繕計画に基づき修繕を実施する。

#### 【主な内容】

- 可動機構、エレベーター・エスカレーターの部品交換
- 空調・換気・給水機器設備の更新
- 照明設備のLED化

3 令和2年度予算額 1,288,295千円

# まち並み景観形成の促進

担当 田園都市づくり課  
景観・屋外広告物担当  
内線 5 3 6 6

## 1 目的

地域の活性化やにぎわいの創出を図るため、誰もが「訪れたくなる」、「誇りに思える」まち並み景観を整備し、景観形成を促進する。

## 2 事業の内容

「まち並み景観づくり」に積極的に取り組んでいる市町村の中から、県の支援により整備が進み、さらに、周辺への波及効果が期待できる「モデル区間」として選定した行田市の八幡通りにおける取組を支援する。

### (1) 取組への助成（補助金）

- ① 統一感のあるまち並み景観を整備するための計画策定
- ② 建物等の外観修景整備工事

### (2) 勉強会への支援

住民の意識醸成等を促進するための勉強会への講師派遣等

### <整備イメージ>



整備前



整備後

3 令和2年度予算額 13,495千円

# 圏央道の整備効果を生かした産業基盤整備の推進

担当 田園都市づくり課  
産業基盤づくり支援担当  
内線 5 5 4 5

## 1 目的

依然高い企業立地ニーズに応えるため、圏央道の整備効果を生かした産業用地を創出する。

## 2 事業の内容

「第3次田園都市産業ゾーン基本方針」(H29～R3)に基づき、圏央道沿線地域に加え、圏央道以北地域などの高速道路インターチェンジ周辺や県内主要幹線道路周辺において市町村の産業基盤づくりを積極的に支援し、田園環境と調和した産業基盤整備を推進する。

また、地元市町と連携して開発ポテンシャルの高まる周辺エリアの乱開発を抑止する。

### 市町村支援の内容

3本の柱による産業基盤づくり支援

- ・ 有望候補地区掘り起し支援（構想策定支援）  
有望な候補地区を掘り起こし、市町村の取組のきっかけづくりを支援
- ・ ファーストステップ支援（計画策定支援）  
構想から計画段階に向けて、産業用地創出への道筋づくりを一から支援
- ・ オーダーメイド型総合支援（事業化支援）  
計画段階にある地区の熟度に応じて、きめ細かく課題解決に向けた取組を支援



インターチェンジ周辺での産業基盤整備イメージ

3 令和2年度予算額 2,397千円



## コンパクトシティの推進

担当 都市計画課  
 総務・企画担当  
 内線 5 3 3 7

### 1 目的

持続可能なまちづくりの実現に向けて、市町村のコンパクトシティの取組を促進するとともに、埼玉版スーパー・シティプロジェクトの検討に活用する。

### 2 事業の内容

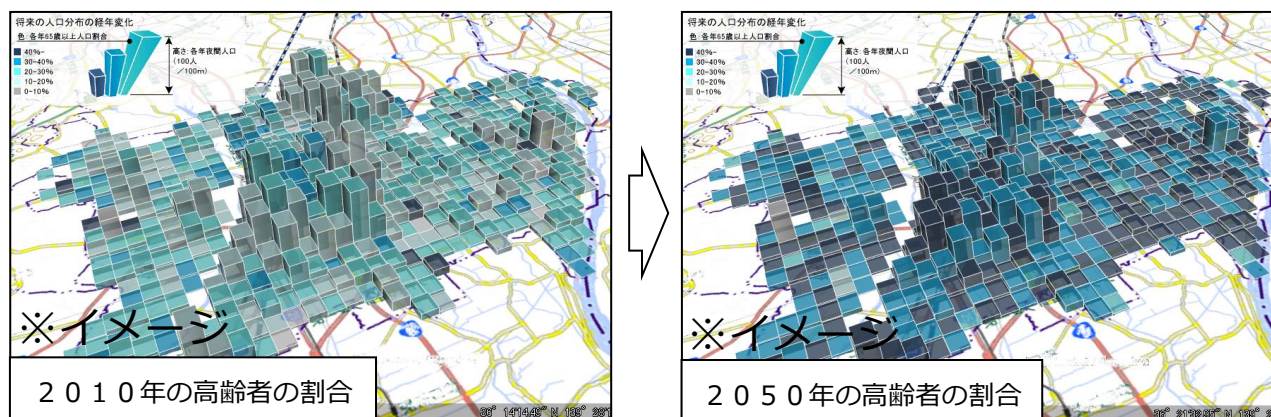
#### (1) 市町村ごとの基礎データの収集・分析

都市全体を見渡す視点で、市町村ごとの将来人口分布や高齢化の進行状況、商業施設の立地などのデータを収集・分析する。

#### (2) 将来的な都市構造の見える化

地域の特性や課題を視覚的・直感的に認識できるようにするため、収集したデータの経年変化を地図上に3Dグラフで表現する。

〇〇市の高齢化状況の経年変化（2010→2050）



補注：都市構造可視化計画、地理院地図を使用

3 令和2年度予算額 18,220千円

# つくばエクスプレス沿線地域整備の推進

担当 市街地整備課  
八潮新都市等整備・区画整理担当  
内線 5 3 7 8

## 1 目的

つくばエクスプレス沿線地域において、住工混在の解消と良好な住宅地の供給により、地域の活性化を図る。

## 2 事業の内容

つくばエクスプレスの開通に伴い、新駅周辺地域の都市基盤整備と良好な住宅地の供給を図り「活力と魅力あるまちづくり」を推進するため、施行面積99.1ヘクタールの土地区画整理事業を実施している。

令和2年度の八潮南部西地区の主な事業

- ・道路築造工事
- ・宅地整地工事
- ・調整池の整備
- ・物件移転補償
- ・保留地販売



整備された都市計画道路

## 3 令和2年度予算額 2,345,461千円



# 市街地整備事業の促進

担当 市街地整備課  
企画・再開発担当  
八潮新都市等整備・区画整理担当  
内線 5386、5425

## 1 目的

県民の安心・安全で快適な生活を確保するため、道路や公園等の都市基盤の整備が必要な市街地を土地区画整理事業や市街地再開発事業により計画的に整備し、良好なまちを形成する。

## 2 事業の内容

土地区画整理事業については、事業地内で都市計画道路等の整備を進める市や組合を支援することで、都市基盤の整備改善と良好な宅地整備を促進する。

また、市街地再開発事業については、駅周辺などの土地が有効利用されていない地区において、土地の高度利用を図り、都市機能を更新する。

- ・組合施行土地区画整理事業 羽生市岩瀬地区など4市5地区
- ・公共団体施行土地区画整理事業 川口市石神西立野地区など4市5地区
- ・市街地再開発事業 所沢市所沢東町地区など3市5地区

区画整理により整備が進む住宅地



羽生市岩瀬地区

市街地再開発による整備イメージ



<施行前>



<施行後・予想図>

所沢市所沢東町地区

## 3 令和2年度予算額 1,772,081千円

(1) 社会資本整備総合交付金（区画整理）事業費	737,989千円
(2) 公共団体区画整理事業県道整備費	186,750千円
(3) 市街地再開発促進費補助	649,942千円
(4) 市街地再開発事業等公共施設管理者負担金	197,400千円

# 住まいのセーフティネット・県営住宅の整備

担当 住宅課  
住宅経営担当  
内線 5569

## 1 目的

住まいのセーフティネットを確保するため、住宅に困窮する高齢者や子育て世帯などが安心して住むことができる県営住宅を整備する。

## 2 事業の内容

高度経済成長期に建設された老朽化の進む県営住宅団地の建て替えと、借上型県営住宅制度により、計画的な整備を行う。

令和2年度	対象団地	戸数
新規着手	行田門井団地（3期）	55戸
継続事業	熊谷玉井団地（5期）、入間霞川団地（5期） 久喜青葉団地（3期）、加須北小浜団地（1期）	255戸
事業完成	入間霞川団地（4期）、大宮砂団地（3期） 行田門井団地（2期）	168戸
借上型	新築分：公募により決定	60戸
	既存分：公的賃貸住宅の活用	40戸
計画改定	大宮植竹団地	—



入間霞川団地（4期・完成イメージ）

3 令和2年度予算額 2,812,341千円

# 埼玉住まいる子育て応援プロジェクト

担当 住宅課

総務・民間住宅担当

県営住宅管理担当

住宅経営担当

内線 5556、5554、5569

## 1 目的

多子世帯等に対する住宅取得支援や、ひとり親世帯に対する安価で入居できる県営住宅の提供により、子育て支援の充実を図る。

## 2 事業の内容

### (1) 子育て世代・多子世帯向け住宅支援事業（56,854千円）

多子世帯（18歳未満の子供が3人以上の世帯）等の子育てしやすい住環境の整備を図るため、住宅の取得に要する経費の一部を助成する。

#### ① 補助内容

種類	補助額	補助対象経費
中古住宅取得	最大40万円	登記手数料、ローン保証料、媒介（仲介）手数料等の諸経費

#### ② 補助件数

種類	補助件数
中古住宅取得	140件

### (2) ひとり親世帯向け支援住宅供給事業（119,600千円）

ひとり親の低所得世帯向けに県営住宅を4年間（令和元年度から令和4年度）で700戸供給する。令和2年度は、このうちの200戸を供給する。

3 令和2年度予算額 176,454千円

# 単身高齢者モデル住宅の整備

担当 住宅課  
住宅経営担当  
内線 5569

## 1 目的

人生100年時代に対応する新たな単身高齢者向けのモデル住宅を整備する。

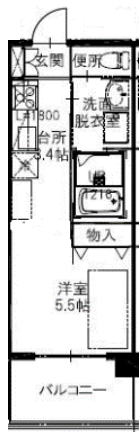
## 2 事業の内容

既存の県営住宅で高齢者が交流することで元気に暮らせる「単身高齢者モデル住宅」を整備する。

令和2年度	対象団地	戸数
新規着手	上尾シラコバト団地（1期）	50戸（うちモデル住宅 15戸）

### 居住スペース

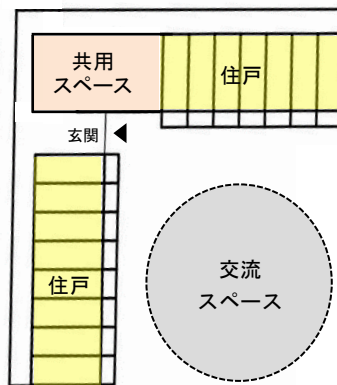
- ・必要最低限の面積（25㎡程度）と仕様



住戸（イメージ）

### 共用スペース

- ・入居者同士の交流を促進するため、食事や談笑などができる共用スペースを整備



住棟（イメージ）

### 交流スペース

- ・入居者同士の相互見守りをしやすくするため、農園や花壇、移動販売場所などを整備



## 単身高齢者モデル住宅のイメージ

3 令和2年度予算額 197,211千円

## 建築情報の活用推進

担当 建築安全課  
企画担当  
内線 5 5 2 4

### 1 目 的

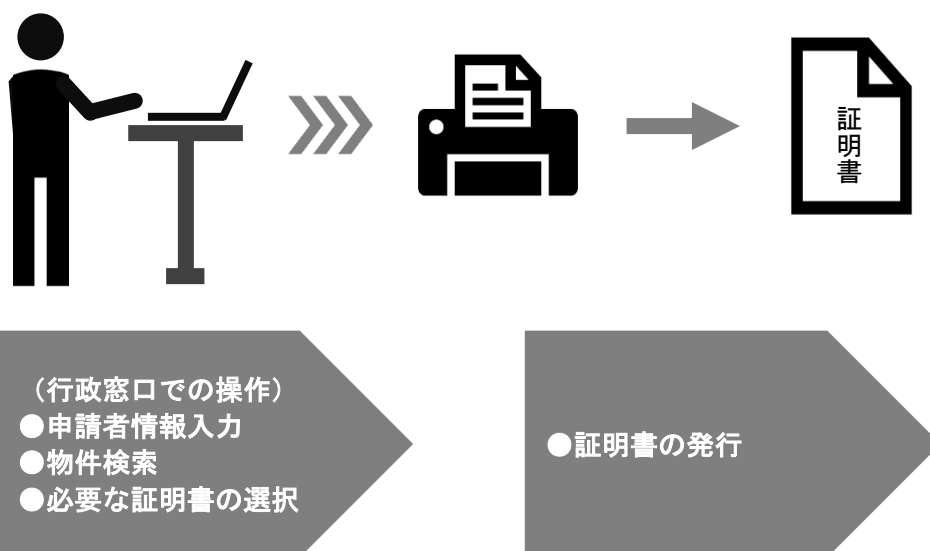
建築情報の活用を推進するため、建築行政窓口のIT化により、利用者へのサービスの向上を図る。

### 2 事業の内容

中古物件の流通増加により、建築物の適法性への社会的ニーズが高まっており、建築物の手続きに関する情報を記載した各種証明書等（建築台帳記載事項証明書、建築計画概要書等の写し）の交付件数は年々増加している。

本事業は、窓口端末システムを開発・整備することで、申請者自ら必要な物件の検索ができる仕組みを構築するとともに、これまで手書き作成を要していた申請書も本システムで作成可能とするなど、各種証明書等の交付に係る申請者の利便性を高める。

#### 【窓口端末システムによる証明書発行手続き（イメージ）】



3 令和2年度予算額 4, 2 1 6 千円

## 住宅密集地の改善推進

担当 市街地整備課  
 企画・再開発担当  
 内線 5376

### 1 目 的

大規模地震による火災の延焼など防災上課題の多い住宅密集地について、県が改善計画を策定する市町村への技術的支援を実施することで、県内の住宅密集地の改善を推進する。

### 2 事業の内容

住宅密集地の改善計画を策定する市町村に対し技術的支援を実施する。改善計画の具体的内容は、住宅密集地改善推進の重要な要素であり、その選定にあたっては専門的な知識や広域的な視点が必要となる。

そこで、県が市町村へ専門家を派遣し、地域特性や広域的な分析を基に効果的・効率的な実施メニューの提示などの支援を実施する。



3 令和2年度予算額 8,000千円



# 民間建築物の耐震化の促進

担当 建築安全課  
震災対策・構造指導担当  
内線 5 5 2 7

## 1 目的

令和2年度までに住宅・建築物の耐震化率を95%にするため、民間建築物の耐震化を促進する。また、震災時に救命救急や物資輸送等の要となる緊急輸送道路のネットワークを確保するため、沿道建築物の耐震化を促進する。

## 2 事業の内容

### (1) 住宅・建築物の耐震化の促進 (82,359千円)

「多数の者が利用する建築物」の耐震診断・改修工事費等に対し助成する。

助成区分		県所管分※	
		補助率	限度額
多数の者が利用 する建築物	診断	2 / 3	300万円
	設計	2 / 3	設計・工事併せて 1,300万円
	工事	23%	

※ さいたま市及び11市（川越市、熊谷市、川口市、所沢市、春日部市、狭山市、上尾市、草加市、越谷市、新座市、久喜市）を除く全域

### (2) 緊急輸送道路閉塞建築物の耐震化の促進 (118,739千円)

「緊急輸送道路閉塞建築物」の耐震診断・改修工事費等に対し助成する。

対象路線	助成 区分	県所管分		11市※ <sup>2</sup> 所管分		
		補助率	限度額	補助率	限度額	
重点	九都県市 連携	診断	5 / 6 * <sup>1</sup>	なし	5 / 6 * <sup>1</sup>	なし
		設計・工事	5 / 6 * <sup>1</sup>	なし	5 / 6 * <sup>1</sup>	なし
		診断	10 / 10	1,000万円	2 / 3	300万円
		設計・工事	2 / 3	4,400万円		
その他	診断	2 / 3	300万円	1 / 3	市負担額かつ 150万円以内	
	設計・工事	2 / 3	4,400万円			



阪神・淡路大震災  
出典：(一財)消防防災科学センター

※1 国の直接補助分を含め、診断・設計10/10、工事9/10

※2 川越市、熊谷市、川口市、所沢市、春日部市、狭山市、上尾市、草加市、越谷市、新座市及び久喜市

## 3 令和2年度予算額 201,098千円